

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月1日

上場会社名 株式会社キムラ 上場取引所 東
 コード番号 7461 URL <https://www.kimuranet.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 勇介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長兼経営企画室長 (氏名) 八代 紀裕 TEL 011-721-4311
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	8,430	0.4	595	△10.2	632	△9.0	337	△10.0
2022年3月期第1四半期	8,400	—	662	—	694	—	374	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 447百万円 (△0.8%) 2022年3月期第1四半期 451百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	22.73	—
2022年3月期第1四半期	25.25	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第1四半期に係る各数値については、対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	26,729	15,580	49.9	899.97
2022年3月期	25,339	15,373	52.0	888.88

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 13,349百万円 2022年3月期 13,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	18,200	0.6	1,500	3.1	1,570	2.7	810	2.4	54.61
通期	34,500	0.5	2,200	6.2	2,330	5.1	1,200	2.3	80.90

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期1Q	15,180,000株	2022年3月期	15,180,000株
2023年3月期1Q	347,250株	2022年3月期	347,250株
2023年3月期1Q	14,832,750株	2022年3月期1Q	14,832,830株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念される中、ロシアによるウクライナ侵攻に伴うエネルギー価格や原材料価格の高騰に加え、日米金利差拡大等による急激な円安の進行、サプライチェーンの混乱などによる価格上昇圧力の高まりにより、先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、原材料価格の高騰と円安による仕入れコストの上昇から住宅価格のインフレが懸念されております。新設住宅着工戸数が弱含みで推移していることもあり、先行きは極めて不透明で厳しい経営環境であると考えております。

このような状況のもと当社グループは、卸売事業における新商品開発と販売強化、小売事業における各種サービスの拡充によるお客様満足度の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高84億30百万円（前年同四半期比0.4%増）、営業利益5億95百万円（同10.2%減）、経常利益6億32百万円（同9.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億37百万円（同10.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（卸売事業）

住宅着工戸数は、コロナ禍で高まった住宅需要が一巡した可能性も否定できず、全国では持家、総数ともに前年を下回って推移しております。4月から5月までの北海道における新設持家着工戸数は1,807戸（前年同期比18.0%減）と前年を大幅に下回っており、今後も厳しい状況が続くものと予想しております。このような状況のもと、床下冷暖房システム「Air Volley」、ダクトレス全熱交換換気システム「Air save」などのオリジナル商品の販売強化に努めてまいりました。これらの結果、売上高27億66百万円（前年同四半期比0.0%減）、営業利益2億32百万円（同1.3%減）となりました。

（小売事業）

ホームセンター業界においては、個人の節約志向は根強く、同業他社、他業種との競争の激化が続いております。このような状況のもと、お客様満足度の向上、接客力の強化による他店との差別化に努めてまいりましたが、人件費、水道光熱費などを始めとした経費増加の流れもあり、売上高51億51百万円（前年同四半期比1.0%増）、営業利益4億3百万円（同6.9%減）となりました。

（不動産事業）

賃貸資産の適切なメンテナンスと効率的な運用を心掛けており、売上高97百万円（前年同四半期比6.6%増）、営業利益69百万円（同3.8%増）となりました。

（足場レンタル事業）

業務の効率化による生産性の向上と経費削減に努めておりますが、外国人実習生受け入れによる経費先行もあって、売上高2億5百万円（前年同四半期比2.1%増）、営業利益17百万円（同31.4%減）となりました。

（サッシ・ガラス施工事業）

工事現場での設計、監理、施工の基本を徹底することで業務の効率化に努めておりますが、春先の工事受注が伸び悩み、売上高2億9百万円（前年同四半期比13.1%減）、営業損失12百万円（前年同四半期は営業損失0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は267億29百万円となり、前連結会計年度末に比べて13億89百万円増加しております。これは主に、売上債権が7億99百万円、棚卸資産が7億70百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は111億48百万円となり、前連結会計年度末に比べて11億82百万円増加しております。これは主に、買入債務が11億38百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は155億80百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億7百万円増加しております。1株当たりの純資産は899円97銭となり、前連結会計年度末に比べて11円09銭増加しております。

なお、自己資本比率は49.9%となっており、前連結会計年度末と比較して2.1ポイント低下しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2022年5月10日付「2022年3月期 決算短信」において発表しております2023年3月期の第2四半期累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,354,547	3,061,005
受取手形、売掛金及び契約資産	2,063,419	2,865,553
電子記録債権	255,303	253,139
商品	3,891,974	4,593,080
販売用不動産	98,690	98,690
仕掛販売用不動産	294,824	369,755
その他の棚卸資産	19,105	13,513
その他	108,845	183,132
貸倒引当金	△5,957	△3,634
流動資産合計	10,080,754	11,434,238
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,909,599	7,795,241
土地	2,868,584	2,852,577
その他（純額）	2,483,808	2,552,939
有形固定資産合計	13,261,992	13,200,759
無形固定資産		
のれん	36,106	27,080
その他	102,922	93,672
無形固定資産合計	139,029	120,752
投資その他の資産		
その他	1,876,725	1,990,231
貸倒引当金	△19,120	△16,694
投資その他の資産合計	1,857,605	1,973,537
固定資産合計	15,258,627	15,295,049
資産合計	25,339,382	26,729,287
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,726,660	2,836,950
電子記録債務	397,517	425,526
短期借入金	2,867,000	3,120,000
未払法人税等	415,852	186,537
賞与引当金	185,006	259,348
その他	800,639	863,110
流動負債合計	6,392,676	7,691,472
固定負債		
長期借入金	2,120,000	1,987,500
役員退職慰労引当金	29,010	29,010
退職給付に係る負債	304,669	313,186
資産除去債務	423,458	423,757
その他	696,027	703,367
固定負債合計	3,573,165	3,456,822
負債合計	9,965,842	11,148,295

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,427	834,427
利益剰余金	11,360,252	11,504,623
自己株式	△133,001	△133,001
株主資本合計	12,855,029	12,999,399
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	247,935	268,102
土地再評価差額金	81,585	81,585
その他の包括利益累計額合計	329,521	349,688
非支配株主持分	2,188,989	2,231,903
純資産合計	15,373,539	15,580,992
負債純資産合計	25,339,382	26,729,287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	8,400,707	8,430,155
売上原価	5,902,949	5,859,871
売上総利益	2,497,757	2,570,284
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	729,589	758,845
賞与引当金繰入額	121,326	133,741
退職給付費用	11,077	13,453
貸倒引当金繰入額	1,087	827
その他	972,250	1,068,347
販売費及び一般管理費合計	1,835,329	1,975,215
営業利益	662,427	595,068
営業外収益		
受取利息	180	180
仕入割引	18,150	16,847
その他	18,544	24,363
営業外収益合計	36,875	41,392
営業外費用		
支払利息	3,917	3,790
その他	610	129
営業外費用合計	4,528	3,919
経常利益	694,774	632,541
特別利益		
固定資産売却益	54	1,005
特別利益合計	54	1,005
特別損失		
固定資産除売却損	—	0
災害による損失	—	26,402
特別損失合計	—	26,402
税金等調整前四半期純利益	694,828	607,144
法人税、住民税及び事業税	240,339	192,353
法人税等調整額	△17,969	△12,428
法人税等合計	222,370	179,924
四半期純利益	472,458	427,219
非支配株主に帰属する四半期純利益	97,983	90,023
親会社株主に帰属する四半期純利益	374,475	337,196

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）
四半期純利益	472,458	427,219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,317	20,098
その他の包括利益合計	△21,317	20,098
四半期包括利益	451,141	447,317
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	353,196	357,363
非支配株主に係る四半期包括利益	97,945	89,954

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場 レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	2,767,819	5,099,382	—	201,717	240,671	8,309,590
その他の収益	—	—	91,116	—	—	91,116
外部顧客への売上高	2,767,819	5,099,382	91,116	201,717	240,671	8,400,707
セグメント間の 内部売上高又は振替高	139,785	940	13,620	73	4,038	158,456
計	2,907,604	5,100,322	104,736	201,790	244,709	8,559,163
セグメント利益 又は損失(△)	235,888	433,519	66,560	25,755	△985	760,738

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	760,738
セグメント間取引消去	△3,970
全社費用(注)	△94,340
四半期連結損益計算書の営業利益	662,427

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場 レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	2,766,868	5,151,188	—	205,885	209,124	8,333,066
その他の収益	—	—	97,088	—	—	97,088
外部顧客への売上高	2,766,868	5,151,188	97,088	205,885	209,124	8,430,155
セグメント間の 内部売上高又は振替高	129,326	491	12,520	1,069	740	144,148
計	2,896,194	5,151,680	109,608	206,954	209,865	8,574,304
セグメント利益 又は損失（△）	232,853	403,608	69,121	17,657	△12,593	710,647

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	710,647
セグメント間取引消去	△3,762
全社費用（注）	△111,816
四半期連結損益計算書の営業利益	595,068

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。